

## 平成26年度 調査研究テーマについて

当調査会では、多摩・島しょ地域の市町村の広域的・共通課題を中心に、年度ごとにテーマを複数選定して単年度調査研究を実施しています。各年度の調査研究報告書は、多摩・島しょ地域の市町村などに配布するとともに、ホームページ (<http://www.tama-100.or.jp>) にも掲載し、公開しています。

平成26年度については、5件の調査研究を実施することを予定しており、今回はその概要を紹介いたします。

### 市町村の公共施設の運営に関する調査研究

全国の自治体の保有する公共施設は、その多くが高度経済成長期からバブル期にかけて建設され、今後、一斉に耐用年数に達するため、その維持更新が大きな課題となっています。

多摩・島しょ地域においては、いわゆる“フルセット”で施設を保有する自治体も多く、その更新のみならず維持にあたっては、より効果的・効率的な運営が求められています。

そこで、多摩・島しょ地域における公共施設の現状と他地域の状況を把握するとともに、広域化や多機能化など、多角的な視点から効果的・効率的な運営方法について検討します。

### 自転車とまちづくりに関する調査研究

自転車は、気軽で便利な交通手段として私達の生活に定着しており、環境に優しい乗り物であるとともに、利用者の健康増進にも寄与し、まちの回遊を促すなど優れた特性を持っています。

このように多くの優れた面があることから、まちづくりの視点に自転車が取り入れられ、利便性の向上やまちの活性化などに生かされている事例が各所に見られますが、一方で、自転車がからむ交通事故や利用マナーの問題なども指摘されています。

そこで、多摩・島しょ地域の現状や特性を踏まえ、特に自転車の優れた面に着目し、商業活性化・観光・健康増進など幅広い観点から、まちづくりへの効果的な活用方法や課題への対応について検討します。

### ご当地キャラクターの活用に関する調査研究 ～多摩・島しょ発! ご当地キャラクター!!～

現在、多くの地域において商業振興や地域活性化を目的にご当地キャラクターを生み出しており、多摩・島しょ地域においても多くの団体で制作されてきました。

しかし、ご当地キャラクターの中には、地域活性化や全国的な知名度アップにつなげるといった点で課題を抱えている例も少なくありません。

そこで、全国や多摩・島しょ地域のご当地キャラクターについて分類化などを行い、その制作目的・活用状況・課題などについて調査を実施し、今後の多摩・島しょ地域におけるご当地キャラクターの活用方法について検討します。

### 島しょ地域における自治体の定住促進策に関する調査研究

人口減少・少子高齢社会を迎え、多くの地域において活力の低下が起こっています。特に東京の島しょ地域の人口は、平成17年をピークに減少し、少子高齢化も全国平均を上回る速度で進展しており、人口流入や定住化を進めなければ島の地域経済が衰退していくため、その解決策が求められています。

そこで、全国の過疎地域や島しょ部における事例や、東京の島しょ地域町村で行われている支援策・課題などについて調査し、今後の東京の島しょ地域における定住促進策について検討します。

### 多摩・島しょ地域における火葬場の需給及び運営に関する調査研究

現在、多摩地域では9つの火葬場（公営8、民営1）がありますが、一部の火葬場では、時期により死亡から火葬に至るまでに10日間も待機せざるを得ない状況が生じています。今後、団塊の世代が平均寿命に達するころには、火葬までの待機日数がさらに長くなることが想定されます。

そこで、多摩・島しょ地域に設置されている火葬場の現況を把握するとともに、将来の需給予測を行います。そのうえで、他地域の事例などを通して、地域間での相違や火葬場を設置する場合の課題などを調査し、効果的な運営方法について検討します。

### 【毎年度作成の統計資料について】

当調査会では、上記の単年度調査研究に加え、多摩地域の市町村における行財政運営の参考となるように、各種統計資料を毎年度作成しています。

平成26年度についても、以下のデータ集を作成し、上記の単年度調査研究と同様に配布・公開する予定です。

#### ○多摩地域ごみ実態調査

多摩地域の清掃事業及びリサイクル事業に関する情報を調査し、基礎的な統計データ集を作成します。

#### ○多摩地域データブック

今後のまちづくりや政策形成など行政運営上の基礎資料として、「人口・土地」「産業」「都市基盤」など主要な統計データ集を作成します。

#### ○税・財政参考資料

39市町村における、財政力指数・公債費比率・経常収支比率等の分析指標や、市町村税徴収実績等のデータ集を作成します。